

**宮古市総合福祉センター**

〒027-0038 宮古市小山田2丁目9番20号  
☎ (64) 5050 FAX (64) 5055  
E-mail: info@miyako-shakyo.or.jp

**田老福祉センター**

〒027-0321 宮古市田老字乙部151-29  
☎ (87) 2224 FAX (87) 4072  
E-mail: chiiki-t@miyako-shakyo.or.jp

**新里センター**

〒028-2101 宮古市茂市第1地割115-4  
☎ (72) 3437 FAX (72) 3433  
E-mail: vc-n@miyako-shakyo.or.jp

**川井センター**

〒028-2302 宮古市川井2地割165  
☎ (76) 2310 FAX (76) 2490  
E-mail: kawashisho@miyako-shakyo.or.jp

# 地域のこどもを中心に広がる「居場所」づくり

地域でつくった「こどもダイニング」の活動から

今、宮古市内で、この地域の住民が主体となって行われる居場所づくりの活動が広がっています。この冬休み期間中に行われた、地域の子どもが安心して過ごせる居場所「こどもダイニング」2地区をご紹介します。

たくさんの子どもが参加でき、地域の大人とつながりもてるように、活動内容やメニュー決めなど、地域の方々が中心となって企画されました。

## 【磯鶏地区 こどもダイニング】

磯鶏地区では、地区の民生委員児童委員協議会が中心となり、既に定期的に開催されている津軽石地区のこどもダイニングを見学し、自分の地域でも行いたいという声のもと開催準備がはじまりました。実施には自治会町内会をはじめ、地域内の高等学校や短期大学にもボランティア参加の声をけるなど、地域で見守る体制づくりも考慮され、今後の定期開催に向けて行われました。



小学生、中学生、地域の大人、みんなでいっしょに「いただきます!」(磯鶏地区)

## 【門馬地区 こどもダイニング】

門馬地区では、これまで学校の長期休み中仕事で家族が留守になる日中帯に、近隣の家庭で子どもを預かったり、食事をを行うなどの助け合いが行われていました。こどもを預かる世帯の負担の軽減や、資金面の課題がある中、地域の方々からこどもの居場所が必要だという声があがりました。そこで、門馬地区福祉ボランティア会を通して地域に広く声をかけをし、高齢者も参加し、宿題やゲーム、食事づ



調理する係、盛り付ける係、居食づくりはみんなで取り組みました。(門馬地区)

## 【地域でつくる 地域の居場所】

「こどもダイニング」は、自分の暮らす地域の中で地域の一員として、その人らしい生活が送ることができる地域の「居場所」のひとつの形であり、決してこどもだけのものではありません。こどもダイニングが目指すものは、地域のこどもを中心に、こどもを取り巻き見守る地域のひとりです。ご紹介した磯鶏地区も門馬地区も、地域に暮らす住民が主体となってその地域に合った、地域らしさのある内容で行われました。継続

して行うための課題はありますが、今後もこの活動がいろいろな地域で広がることを期待します。



宮古市のこどもダイニングは、地域に暮らす誰でも参加できる「居場所」です。

地域で行う「こどもダイニング」については、  
宮古市社会福祉協議会くら  
しネットみやこ相談室  
(TEL: 6517046)  
または地域福祉課  
(TEL: 7713061)  
へお気軽にお問い合わせくだ  
さい。

# 第31回宮古市福祉作文・ 標語コンクール入賞者決定

今年度の福祉作文・標語コンクールには、作文の部には小学校の部29点、中学校の部35点、高等学校・一般の部3点、合計67点の応募をいただきました。

また、標語の部には135名、合計185点の応募をいただきました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

10月下旬の審査会を経て、入賞者された皆さんは、11月24日(日)に開催した「第14回宮古市社会福祉大会」内の表彰式に臨まれました。入賞者の皆様、おめでとうございませう。

入賞作品集や標語ポスターは、市内公共施設や福祉施設でもご覧になれます。ぜひご覧ください。



第14回宮古市社会福祉大会内で表彰式を行いました。

## 作文の部

### 【小学校の部】

#### ●最優秀賞

「ぼんやポランティアつてなんだろう」

田老第一小学校一年 畠山大地

「わたしのじまのおじいちゃん」

宮古小学校二年 初森心咲

「やさしくしてあげるためには」

藤原小学校三年 前川叶人

「大丈夫のひと言」

千徳小学校四年 船越紗菜

「あたたかさの中で」

山口小学校五年 小笠原みらい

「つなげる地域のきずな」

宮古小学校六年 斎藤はるね

#### ●優秀賞

「えがおが、いつほい」

赤前小学校一年 佐々木陽菜

「やさしくしてくれてありがとう」

宮古小学校二年 大矢光希

「わたしにできること」

鎌ヶ崎小学校三年 畠山愛未

「しょうがいは不幸ではない」

山口小学校四年 刈屋晴心

「キャップハンディ体験から」

田老第一小学校五年 桂木玲依

「未来に広がるみんなの笑顔」

宮古小学校六年 上山結愛

#### ●優良賞

「グループホーム見学」

赤前小学校二年 小金淵大揮

「家族をまもりたい」

鎌ヶ崎小学校三年 須藤みく

「福祉について考える」

宮古小学校四年 坂本道

「心にユニバーサルデザインを」

田老第一小学校五年 田村昇龍

### 【中学校の部】

#### ●最優秀賞

「僕が目指す福祉」

第一中学校一年 坂下幸音

「高齢化社会に生きる私たち」

津軽石中学校二年 盛合夏帆

「科学の発展よりも「理解」を」

新里中学校三年 武田恵依

#### ●優秀賞

「地域の一員として」

津軽石中学校一年 中村遥音

「身近な人がいること」

河南中学校二年 田崎茜唯子

「同じ気持ち、目線で」

宮古西中学校三年 細越いろは

#### ●優良賞

「私が目指す未来の福祉」

宮古西中学校一年 栗原華

「笑顔で生活するために」

第一中学校三年 大谷優理

「皆が勝ち組になれる世界に」

宮古高等学校一年 昆野璃紗

### 【特別賞】

「小学校三〜四年生の部」

「いつしよに活動できるように」

花輪小学校四年 大村優奈

「小学校五〜六年生の部」

「ひとりひとりによりそって」

山口小学校五年 藤田美依南

### ●中学校の部

「思いやりの大切さ」

津軽石中学校一年 佐々木ゆき

### ●高等学校・一般の部

「父の教え」

宮古市山口 佐藤栄子

## 標語の部

#### ●特選

「ふれあいで 気づくちいきの 気づくちいきの」

磯鶏小学校三年 岩城幸来

#### ●入選

「やさしさを みんなで分ける」

第二中学校三年 中野遥貴

「考えよう 相手の心」

津軽石小学校六年 山野目蒼之

#### ●佳作

「がぞくから えがおのリレー」

磯鶏小学校三年 佐々木舜晟

「君の手と、心でつながる」

第二中学校一年 工藤帆夏

「一人より、二人で歩こう」

津軽石小学校六年 木村悠斗

## 令和元年度社協会費 実績報告とお礼

令和元年度の社協会費につきましては、市民の皆様並びに法人・事業所の皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。納入いただきました会費は、地域に暮らす誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざして、宮古市の地域福祉活動の大切な財源として活用させていただきます。これからも、皆様とともにみやこの地域づくりに取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご協力いただきましたました法人・事業所のお名前は、宮古市社会福祉協議会ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。



令和元年度社協会費 総額	一般会費	法人会費	特別会費
18,203,450円	16,211,450円	1,454,000円	538,000円



## ～ 宮古市社会福祉協議会役員・評議員人事のお知らせ ～

役員・評議員に就任および退任された方々についてお知らせいたします。(敬称略)  
平成30年8月31日から令和元年10月31日まで

### 現役員(理事10名・監事3名)

◇任期:令和元年6月26日～令和2年度定時評議員会の終結の時まで

会長 赤沼正清(社会福祉事業の経営に関する識見を有する者)  
副会長 木下 一(社会福祉事業の経営に関する識見を有する者)  
副会長 赤沼利彦(事業区域における福祉に関する実情に通じている者)  
常務理事 柳澤良文(設置している社会福祉施設の管理者)  
理事 伊藤健二(事業区域における福祉に関する実情に通じている者)※新任  
理事 中嶋良彦(関係行政機関の職員)  
理事 波岡達彦(社会福祉事業の経営に関する識見を有する者)※新任  
理事 佐々木登(社会福祉事業を営む団体の役職員)  
理事 大洞健一(社会福祉事業を営む団体の役職員)※新任  
理事 金丸久子(ボランティア活動を行う団体の代表)  
監事 岩間美暁(財務管理について識見を有する者)  
監事 中坪清見(社会福祉事業について識見を有する者)※新任  
監事 坂下健一(社会福祉事業について識見を有する者)

### 【退任役員】

理事 刈屋裕之(事業区域における福祉に関する実情に通じている者)  
監事 伊藤和栄(社会福祉事業について識見を有する者)

### 現評議員(17名)

◇任期:平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結の時まで

評議員 山内霜子(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 高橋 智(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 齋藤玲子(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 木村清勝(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 小成文男(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 中嶋隆子(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 袈岩昭雄(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 鈴木光子(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 小川口郁子(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 及川 元(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)  
評議員 井畑克雄(地域の代表者)  
評議員 中島光子(利用者の家族の代弁者)※新任  
評議員 昆野孝史(福祉関係非営利団体の役職員)  
評議員 佐々木りほ子(福祉関係非営利団体の役職員)  
評議員 浅沼國治(福祉関係非営利団体の役職員)  
評議員 西澤崇誌(福祉関係非営利団体の役職員)  
評議員 富谷 猛(奉仕団体等の代表)

### 【退任評議員】

評議員 野崎 正(社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者)



## 岩手県共同募金会 宮古市共同募金委員会からののお知らせ



現在、赤い羽根共同募金では、災害・被災地支援のための  
「義援金」「支援金」の募集をしています。

### 被災された方を支援する募金 「災害義援金」

名称	送金先	受付期間
平成28年熊本地震義援金	熊本県共同募金会	令和2年3月31日まで
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	北海道共同募金会	令和2年3月31日まで
平成30年7月豪雨災害義援金	中央共同募金会	令和2年6月30日まで
令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金	佐賀県共同募金会	令和2年2月28日まで
令和元年台風19号災害義援金	岩手県共同募金会 中央共同募金会	令和2年3月31日まで

### 被災者支援活動を行うボランティア・NPO団体等を支援する募金 「災害支援金」

名称	送金先	受付期間
台風19号災害に伴うボランティア・NPO活動サポート募金(災害ボラサポ・台風19号)	中央共同募金会	令和2年3月31日まで

⇒詳しくは最寄りの宮古市社会福祉協議会各センターにお問い合わせください。

この貸付制度は、低所得世帯、高齢者・障がい者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その世帯の生活の安定と在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的としています。

貸付の種類をいくつかご紹介します。

- 教育支援資金  
高校、大学、専門学校への就学に際し必要な経費。
- 福祉費  
①教育支援費(授業料等)  
②就学支度費(入学金等)
- 福祉費  
技能習得、障がい者の車の購入、住宅の改築、補修等に必要経費
- 総合支援資金  
失業などで世帯の生活の維持ができなくなった方等の生活再建のために必要な費用(生活困窮者自立支援事業の利用が要件です)
- 緊急小口資金  
緊急かつ一時的に生計が困難となった場合の少額の費用
- 緊急小口資金(特例貸付)  
台風19号により被災され、当座の生活費を必要とする世帯。

※市が発行する「災証明書が必要」の貸付制度の利用には要件があります。貸付に該当しない場合もありますので、詳しくは最寄りの宮古市社会福祉協議会各センターにお問い合わせください。

### 生活福祉資金 貸付制度のご案内

活動報告

# 宮古市災害ボランティアセンター

## 宮古 心よせて

令和元年10月12日から13日にかけて、日本各地に大きな被害をもたらした台風第19号は、当市にも土砂の流出や家屋の浸水等大きな被害をもたらしました。被災された皆様によりお見舞い申し上げます。宮古市社会福祉協議会では10月15日にイーストピアみやこ1階に「宮古市災害ボランティアセンター」を開設し、被災された方々からの作業依頼や、ボランティアの受け入れ対応を行いました。

市内はもちろん県内外から延べ1,239人もボランティアがかけつけてくださいます。その中には、「力仕事は無理だ」と、全国から提供



ボランティアさんは、朝のオリエンテーションで一日の活動内容等を確認してから出発しました。(イーストピアみやこ玄関前にて)



ミシンや手縫いで清掃作業用の雑巾をつくっていただきました。

いたタオルを使って雑巾を作ってくださいました。しゃいました。

また、人力では対応しきれない大規模な作業に重機を稼働してくださったたり、長時間に及ぶボランティア活動のために自社の駐車場の提供や、遠方から活動する方々のためのボランティアバスの運行など、様々な企業・団体様からもご協力をいただきました。このように、形は様々ながら今の自分にできることで協力したいと、たくさんの方々にご協力いただきました。

宮古市災害ボランティアセンターは被災された方からの依頼が収束したため、11月24日をもって閉所いたしました。皆様が安心して暮らせる地域づくりのための支援に取

り組んでまいります。なお、詳しい活動の様子は、Facebookの宮古市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターのページからご覧いただけます。

作業依頼件数	136件
活動述べ人数	1,239人 (このうち42団体を含む)
主な活動内容	居室及び敷地内の泥出し 家財道具の運び出し 家屋内の清掃 等



土のう袋にスコップで土砂を詰め運び出す作業は、かなりの重労働にも関わらず、お昼を挟んで丸一日続きました。

### 寄付の御礼 (順不同)

(期間 令和元年6月1日～令和元年12月31日)

#### 【寄付金】

- 東館ヨシ様 3,000円
- リズム様 4,110円
- やっぺしー東北東京事務局 大坂紀子様 80,000円
- みやこダンスフレンズ様 5,171円
- 小山田老人歌の会様 10,000円
- 旭川大学震災ボランティアサークル 円陣様 5,000円
- 清水湊會様 571,842円
- 田老奉仕の会 会長 佐々木松夫様 20,000円
- 宮古茶道協会 会長 萬美恵様 10,000円
- トヨタカローラ岩手株式会社 代表取締役副社長 塚原孝一様 400,000円
- 宮古市社会経験者大学様 10,000円
- 真如苑様 30,000円
- リズム様 5,944円
- ショップアトリエSun様 50,000円
- 宮古民商婦人部様 5,000円
- 藤原バレー様 5,000円
- 宮古市ブランドゴルフ様 22,200円
- 宮古さつき会様 10,000円
- さいとう歯科矯正クリニック様 10,000円
- みやこダンスフレンズ様 4,202円

#### 【物品寄付】

- 宗教法人華嚴院 平井洋光様 白米7袋 (70kg)
- 社会福祉法人恵心会 理事長 富野清吾様 食料
- 清水湊會様 防犯笛 40個
- 岩手県東部地区郵便局長会 宮古第二部会 陸中川内郵便局長 内館睦夫様 タオル500枚
- 中外製薬株式会社様 福祉車両(車イス仕様) 1台
- 末広館 小島潤様 冷蔵庫、洗濯機、調理台等
- 宮古市立花輪小学校 校長 小川口郁子様 づるち米 5kg×6袋
- いきいきフェア様 電気卓上ラシーメン釜 1台

### 編集後記

今号は、台風19号被災対応等の関係で、当初の令和元年12月から令和2年2月に発行日を変更させていただきました。

第31回宮古市福祉作文・標語コンクールの入賞作品文集の作製を進めています。校正作業で作品を再読しますが、内容に感動し思わず涙ぐむことが度々あり、作品に込められた「思い」が読み手に伝わる力の大きさを実感しています。こどもたちが体験し得た気付きや思いに寄り添い育むことができる地域という居場所づくりの大切さを改めて感じています。